

平成29年7月～平成31年6月

クリーン仙台推進員 クリーンメイト

活動の手引き



仙台市環境局

はじめに

毎日の生活の中で、無視できないのが「ごみ」の問題です。

仙台市ではごみ処理費用の適正化を図るため、平成 20 年度に家庭ごみ等の有料化を実施しました。ごみの減量・分別への市民の皆さまの関心が高まり、着実にごみは減っていきましたが、平成23年3月の東日本大震災後、家庭ごみに混入する資源物の割合が高止まりの状況が続いています。



家庭ごみの約 4 割は分別すれば資源としてリサイクルできる紙類・プラスチック製容器包装などです。平成 28 年度からは、「1人1日あたりの家庭ごみ排出量 450グラム以下」を目指し、ごみ分別意識に「めざめよ!」と「分別向上」の 2 つの意味を込めた「WAKE UP(ワケアップ)!! 仙台」を新たな合言葉として市民協働によるごみ減量を推進しています。平成 28 年 10 月のキャンペーンでは、クリーン仙台推進員、クリーンメイト、町内会の皆さまと市職員が、ごみ集積所やコンビニエンスストアなどで地域の方へごみの分別の呼びかけなどを行いました。

その活動のリーダー役として、中心的な役割を担っていただく皆さまへの地域の方々の期待は益々高まっています。

この手引きは、クリーン仙台推進員・クリーンメイトの皆さまが地域の活動を続けていく際の参考としていただくために作成したもので、仲間と楽しみながら活動をされている様子や、地域特性に合った活動の工夫をされている事例等を掲載いたしましたので、ご活用いただければ幸いです。

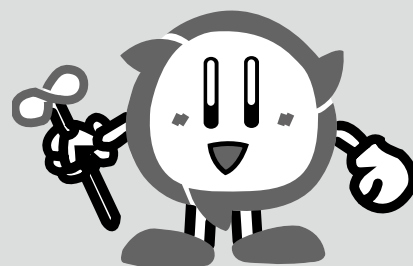
今後も、皆さまと力を合わせて、さらなるごみ減量・リサイクルに取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

平成 29 年 7 月

仙台市リサイクルシンボルマーク「メビウスちゃん」

リサイクルマークをモチーフとした「メビウスちゃん」は、平成 7 年 9 月、一般公募によって生まれました。再生のシンボルが歩き出した姿をイメージし、右手には無限（無限の再生）を意味するメビウスの帯を象徴した杖を持っています。

メビウスちゃんは、ごみ減量・リサイクルを目指すクリーン仙台推進員・クリーンメイトのベストのデザインや通信の名称にも使われています。



目 次

第Ⅰ章 クリーン仙台推進員制度の概要…………… 1

1 目的 ……………	1
2 クリーン仙台推進員・クリーンメイトの委嘱 ……………	1
3 主な活動内容 ……………	2
4 推進員活動における市の支援 ……………	3

第Ⅱ章 活動事例の紹介…………… 6

1 推進員活動のすすめ ……………	6
2 活動事例(保存版) ……………	10
3 活動知恵袋 ……………	33

第Ⅲ章 資料…………… 35

1 クリーン仙台推進員設置要綱 ……………	35
2 クリーン仙台推進員永年勤続表彰要綱 ……………	36
3 クリーン仙台推進員制度のあゆみ ……………	36
4 仙台市のごみ減量の目標(仙台市一般廃棄物処理基本計画より) ……………	37
5 データでみる仙台市のごみと資源物の状況 ……………	38
6 資源とごみの分け方・出し方に関するよくある質問 ……………	39
7 お問い合わせ先一覧 ……………	43
(様式1) クリーン仙台推進員推薦書 ……………	44
(様式2) クリーンメイト推薦書 ……………	46
(様式3) クリーン仙台推進員(追加・変更)推薦書及び退任届 ……………	48
(様式4) クリーンメイト(追加・変更)推薦書及び退任届 ……………	50

※本誌では、クリーン仙台推進員を「推進員」、クリーンメイトを「メイト」、ごみ集積所を「集積所」と記載します(表題を除く)